

# 地域医療連携室だより

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

患者支援センターでは、日々湧いてくる課題に、膝を突き合わせて、眉間にしわを寄せて話し合っております。そんな時、当院周辺の草木の彩り、澄んだ空気の気持ちよさが心身の緊張をほぐしてくれます。山手である為に、ご利用の皆さまにはご不便をおかけしますが、患者さまやご家族にとって気分転換になれば嬉しく思います。

さて、同だよりは、登録医の先生や看護師さんに「使ってもらえる情報」に絞り、「当院ができること」をご紹介します。ですが、いかがでしょうか？ ご感想を地域医療連携室までお聞かせください。



## お知らせ： 循環器科ホットライン開始しました

### 10/10より、循環器科医師と登録医療機関の先生方をつなぐ 直通電話を開始しました。

- ・ 急な循環器疾患対応でどうしたら良いか…？
- ・ 循環器の疾患だと思うけど…？
- ・ ちょっと心配なことがあるが…？ など、緊急時に限らずご相談にもご利用ください。



循環器科ホットライン 072-696-3140 (医療機関専用)

【対応時間】 (平日) 8:30~17:00、 (土) 9:00~13:00

## お願い： 薬剤部より

診療報酬改定により、「入院の契機となる疾患に対する持ち込み薬」が使用できなくなりましたが、これに該当しない薬につきましては、御紹介いただく患者様の内服・外用・自己注射薬は原則持ち込みをお願いしております。当院の入院が確定した時点で、継続薬については予定入院期間を超える十分な日数の処方をお願いいただければ幸いです。

特に、統合失調症等の神経系疾患に用いる薬に関しては、採用薬の種類が少ないため、入院途中で持ち込み薬が切れますと、新たに購入が必要なケースが多く、その結果、無投薬の期間が生じたり、退院後に多数の残薬が発生する事例がしばしば起こっております。

効率的な薬の活用のため、登録医の皆様のご協力をお願いいたします。

## がんのサポート

高槻赤十字病院 がん相談支援センターでは、がん患者さんと、そのご家族を対象とした「がん患者サロン」を毎月開催しています。

費用無料

予約不要

出入り自由

がんの種類は、問いません

どなたでも、ご参加いただけます

### ▼報告

10/15 (水) 13時~15時「がんと食事」というテーマで、藤原緩和ケア認定看護師より講義30分ののち、フリー座談会90分をやすらぎホール(緩和ケア病棟内)にて行いました。

参加者は3名でしたが、患者・家族でお互いの工夫を伝えあい、相互交流ができていました。



### ▼予告

11/19 (水) 13時~15時

13:00-13:30 講義

13:30-15:00 フリー座談会

テーマ：がんの治療による副作用との付き合い方  
～ スキンケアと脱毛のケア ～

●講師：藤原緩和ケア認定看護師

●場所：やすらぎホール(緩和ケア病棟内)





【第4回】

## 「高槻日赤のココが分からない！」 Q&A

### Q. 耳鼻咽喉科の診療体制が分からない！



A. 「病院耳鼻科は診療所と同じ事をせずに手術や特殊な治療に特化すべきである」をモットーにやっています。1人になった現在、この方針を貫き通すのは厳しいものがあります。悪性腫瘍はさすがに無理ですが、可能な範囲で手術をしています。状態の安定した患者さんは診療所で診ていただくようにしています。ご協力お願いいたします。耳鼻咽喉科 部長 藤田 修治

#### ■外来担当表

11/4より、(火)の外来はなくし、(月)を2人体制で行います。

耳鼻咽喉科の外来日は(月)(水)(金)になります。

直接、紹介状を持参で来院されても外来診察ができません。

地域医療連携室経由で、予約を取って頂きますようお願いいたします。

※(火)(木)は手術のため、休診です。

	月	火	水	木	金
担当	藤田		藤田		藤田
担当	交代				交代

#### ■診療体制

##### ●診療を行っている主な病気

慢性副鼻腔炎、慢性扁桃炎、鼻中隔彎曲症

##### ●特色

成人喘息合併の内視鏡下鼻副鼻腔手術、  
小児(成人は除く)睡眠時無呼吸の手術加療が多いのが特徴です

##### ●検査機器

聴力検査、電気味覚検査、  
内視鏡(軟性鏡、硬性鏡、電子内視鏡)

#### 顎下腺唾液症の手術

食事の時にあごのあたりが腫れて痛くなる疾患です。唾液を作る唾液腺に結石があると、唾液の出口が塞がれてしまい内部で唾液の圧力が高くなるために痛み・腫脹といった症状が出ます。カルシウムを含む石であり、薬物で溶解することはできず、歯、下顎骨があるため衝撃波での粉碎もできません。治療は原則手術となります。一個だけで浅いところであれば口の中から石だけ取ることもできます。複数の石が顎下腺内にある場合は、頸部皮膚切開で顎下腺ごと摘出します。最近はやや深いところであっても石が一個だけであれば、口腔内から摘出しています。まだ、一般化していない手術ですが、当院では症例も多く、今のところ再発例もなく、美容的にも優れた方法です。しかし、複数の石がある場合は、たとえそれらをすべて取っても、新たに結石が形成されるので、適応にはなりません。この場合はやはり、頸部切開で顎下腺ごと摘出します。

- ご相談は、耳鼻咽喉科外来まで。
- 外来予約は、地域医療連携室まで。

#### 副鼻腔の内視鏡手術

明治時代の京大初代耳鼻科教授和辻先生の時代から一昔前まで、副鼻腔の手術は齒齶切開にて行う侵襲度の高いものでした。術後顔面が腫脹し、開眼できないことも稀ではありませんでした。十数年前に内視鏡手術が普及し、今では鼻腔内からのみ手術することがほとんどです。当院はこの手術件数が多く、毎週のように施行しています。内視鏡手術になって低侵襲となり、病態の制御率も上昇しましたが、一部制御困難なサブグループの存在が今度は注目されるようになってきました。好酸球性副鼻腔炎と言って、組織中に好酸球の浸潤が多く、気管支喘息を合併することが多いのが特徴です。再発率の高さ、手術の難しさ、副損傷のリスクから手術しない施設も多いですが、当院では好酸球性であっても降参せずに手術しています。現在当院では手術症例の3人に1人がこの病態です。適切に喘息と診断、治療を受けていないケースも多いです。喘息合併の場合は術前に呼吸器科にて喘息をコントロールしてもらい、手術、術後治療はこれ以上出来ないぐらい完璧に行う、それでも鼻茸再発する場合は外来手術で早めに鼻茸切除という方針で難治性のグループであってもコントロール良好なことが多いです。

#### 小児睡眠時無呼吸の手術

子供のいびきは特に男の子であれば元気な証という考えも以前にはありましたが、実は無呼吸を伴い、心身に悪影響が及ぶこともあります。成人と異なり肥満を伴っていないことも多いです。無呼吸の程度を調べ、ある程度以上のものは手術することで良くなることが多いです。扁桃とアデノイドをとる手術をします。



無呼吸検査の機器

#### 地域医療連携室

外来予約・経過照会・セカンドオピニオン・転院のご依頼などの窓口です

◆◆TEL 受付時間 平日 8:40-19:00◆◆

TEL: 072-696-3274 (地域医療連携室)

◆◆FAX 受信は 24 時間受付◆◆

FAX: 072-695-0054 (地域医療連携室) 19 時以降・休日受信は翌営業日朝の確認となります

◆◆メールアドレス◆◆

byousin@takatsuki.jrc.or.jp